

事業成果報告書

[取組Ⅱ] 市町村教育委員会等による小中一貫教育の域内全域での導入に向けた取組

1. 市町村教育委員会等の名称 : 静岡市教育委員会

住所 : 静岡市清水区旭町6番8号
代表者職・氏名 : 教育長 高木 雅宏

2. 取組の名称 : 静岡型小中一貫教育の推進
～「縦の接続」と「横の連携」による教育力の向上～

3. 取組Ⅱの実績

(1) 取組のねらい

平成27年度に策定した「静岡型小中一貫教育推進方針」に基づき、各小・中学校の取組のひな型となる「静岡型小中一貫教育カリキュラム」の策定、本市における小中一貫教育推進体制の整備、先駆的・重点的に小中一貫教育に取り組む「スポット校(グループ)」における成果・課題の検証、及びこれらを保護者や地元住民に広く周知し、平成34年度から全小・中学校において小中一貫教育に取り組むことを目指す。

(2) 取組Ⅱの実施状況 (平成28年度)

4月	—
5月	●事業計画書提出、契約締結 ●静岡市小中一貫教育教育課程等協議会(以下「教育課程等協議会」)設置準備
6月	●小中一貫全体研修会の開催 日時：平成28年6月15日(水)午前9時～正午 対象：管理職等(校長、教頭、主幹教諭等)約130名 内容：本市が目指す静岡型小中一貫教育の概要と今後のスケジュール ① 小中一貫教育が必要とされている理由 ② 静岡市が小中一貫教育に取り組む理由 ③ 静岡型小中一貫教育とは ④ 本年度の取組と今後のスケジュール 等 ●美和中学校区小中一貫研修会 日時：平成28年6月27日(水)午後2時30分～午後4時30分 対象：安倍口小、美和小、足久保小、美和中の教職員 内容：① 小中一貫教育が必要とされている理由 ② 静岡市が小中一貫教育に取り組む理由 ③ 静岡型小中一貫教育とは ④ 本年度の取組と今後のスケジュール 等 ※以降、小中一貫教育グループの要請に基づき、教育委員会事務局職員が訪問した。 (全14グループ/43グループ)

7月	<p>●第1回小中一貫教育課程等協議会の開催<国庫委託対象経費> 日時：平成28年7月4日（月）午後6時30分～午後8時30分 委員：有識者3名、自治会代表、保護者代表、私学協会代表2名、社会教育代表、教育長、教育委員長、中学校校長会代表3名、小学校校長会代表3名 ※委員の構成は以後同様 議題：① 静岡型小中一貫教育推進方針の確認 ② 協議会の協議内容及び作成する成果物の共有 ③ 静岡市が目指す小中一貫教育の概略 等</p> <p>●先進市視察<国庫委託対象経費> 視察日：平成28年7月11日（月） 視察先：姫路市 白鷺小・中学校 視察者：学校教育課参事他2名 内 容：姫路市が策定している教育カリキュラムを活用した実践校を視察し、本市教育カリキュラムの参考とする。</p> <p>●小中一貫教育だより<創刊号>発行<国庫委託対象経費> 配布先：静岡市立小・中学校全職員 内容：① 教育長講話 ② 小中一貫教育全体研修会の概要 ③ 第1回小中一貫教育課程等協議会の概要 等</p> <p>●住民代表との意見交換会 日 時：平成28年7月27日（水） 午後3時～午後5時 出席者：葵区自治会連合会役員38名、教育長他教育委員会事務局職員11名 内 容：静岡型小中一貫教育について ※以降、駿河区と清水区自治会連合会役員との意見交換、要請のあった学区の保護者や自治会住民との意見交換を行った。</p> <p>●小中連携研修 夏休み期間以降、市内43の全ての中学校区で、小学校と中学校の教職員による研修が行われた。</p>
8月	<p>●小中一貫教育課程等協議会【第1回作業部会】の開催 日時：平成28年8月25日（木）午後2時30分～午後5時 <基準部会> 委員：中学校校長、小学校校長、中学校教頭、小学校教頭 中学校教諭、小学校教諭、指導主事2名 ※委員の構成は以後同様 議題：小中一貫教育をより推進させるための教育課程編成基準について 等 <特色部会> 委員：中学校校長、小学校校長、中学校教頭2名、小学校教頭 中学校教諭、小学校教諭、指導主事3名 ※委員の構成は以後同様 議題：小中一貫教育を充実させるための特色ある教育課程について 等</p>
9月	<p>●第2回小中一貫教育課程協議会の開催<国庫委託対象経費> 日時：平成28年9月26日（月）午後6時30分～8時30分 議題：① 静岡型小中一貫教育の「静岡型」とは何か ② 学校における教育目標の設定について ③ 静岡型教育課程における特色ある学習をどう展開するか ④ 静岡市としての人的資源と物的資源の活用をどのように図るか 等</p>
10月	<p>●先進市視察<国庫委託対象経費> 視察日：平成28年10月20日（木） 視察先：上越市 八千浦学園 視察者：教育長、学校教育課参事他2名 内 容：施設分離型小中一貫教育を推進している上越市の教育カリキュラムについて、理解を深めるとともに、本市の小中一貫教育カリキュラムの策定に資する。</p>

11月	<p>●小中一貫教育課程等協議会【第2回作業部会】の開催 日時：平成28年11月14日（月）午後2時30分～午後5時 <基準部会> 議題：① 第2回協議会への提案結果、議事報告 ② カリキュラムマネジメントの実現について 等</p> <p><特色部会> 議題：① 第2回協議会への提案結果、議事報告 ② 社会に開かれた教育課程について 等</p> <p>●小中一貫教育だより<第2号>発行<国庫委託対象経費> 配布先：静岡市立小・中学校全職員 内容：① 学校教育課長講話 ② 第2回小中一貫教育課程等協議会の概要 ③ 保護者、自治会向けの説明会案内 ④ 先進都市（姫路市）視察報告 等</p>
12月	<p>●第3回小中一貫教育課程協議会の開催<国庫委託対象経費> 日時：平成28年12月13日（火）午後6時30分～8時30分 議題：① 静岡型における「つながる力」とは何か ② 英語力向上について ③ 小中一貫教育だからこそ取り組める創意工夫について 等</p>
1月	<p>●小中一貫教育だより<第3号>発行<国庫委託対象経費> 配布先：静岡市立小・中学校全職員 内容：① 校長会長講話 ② 第3回静岡型小中一貫教育課程等協議会の概要 ③ 先進都市（上越市）視察報告 等</p> <p>●第4回小中一貫教育課程協議会の開催<国庫委託対象経費> 日時：平成29年1月30日（月）午後6時30分～8時30分 議題：① 静岡型小中一貫教育カリキュラムの基本的な考え方について ② 小中一貫教育課程の編成・実施における基本的な考え方について ③ 保護者向けリーフレットの内容について 等</p>
2月	<p>●静岡市教育委員会定例会 日時：平成29年2月8日（水）午前10時～午前12時 議題：静岡型小中一貫教育カリキュラム【基本的な考え方】の決定</p> <p>●小中一貫教育課程等協議会【第3回作業部会】の開催 日時：平成29年2月13日（月）午後3時00分～午後4時30分 <基準部会><特色部会> 議題：① 第3回協議会、教育委員会定例会の報告 ② 静岡型小中一貫教育カリキュラム【基本的な考え方】リーフレット 等</p>
3月	<p>●静岡型小中一貫教育カリキュラム【基本的な考え方】リーフレットの発行<国庫委託対象経費> 配布先：静岡市立小学校、中学校、子ども園の保護者 内容：① 静岡型小中一貫教育の目的 ② 静岡型小中一貫教育の進め方 ③ 静岡型小中一貫教育の内容 ④ 静岡型小中一貫教育組合せ（グループ）一覧 等</p>

(3) 取組の成果

●静岡型小中一貫教育カリキュラム【基本的な考え方】の決定

●市民理解の促進

各区自治会連合会役員との意見交換、各学区住民との意見交換等では、「全市で小中一貫教育に取り組む理由や目指す効果が良く分かった」と、静岡型小中一貫教育に対する市民の皆さんの理解は概ね得られていると認識している。

●教職員の意識醸成

平成28年度当初の事業計画書で設定した指標の結果は次のとおりであった。

これは「小中連携研修」のみの成果を把握するためのアンケートの中で質問したことが理由と考えられる。実際には、例えば「目指す子ども像を明確に取り組むことが大切だと感じた」「中学校区の強みを活かした一貫教育を展開したい」などの声が、全体研修、小中一貫教育グループごとの研修、小中連携研修の際には聞かれており、小中一貫教育に対する教職員の意識は確実に高まっていると認識している。

- ・小・中学校の互いの良さを取り入れようとする意識が高まったと答える教職員の割合
H26:37.5%→H28:32.0%(目標:38.3%)
- ・9年間で子どもたちを育てる意識が高まったと答える教職員の割合
H26:38.4%→H28:32.8%(H28:38.9%)

●子どもたちへの影響

平成28年度当初の事業計画書で設定した指標の結果は次のとおりであった。

- ・授業が分かると思う児童・生徒の割合【全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙】
児童 H26:79.0%→H28:77.7%(目標79.3%)、生徒 H26:72.15%→H28:68.9%(目標72.5%)
- ・地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある児童生徒の割合【全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙】
児童 H26:61.7%→H28:66.7%(目標70.6%)、生徒 H26:58.7%→H28:70.5%(目標65.8%)

※事業計画書では、「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがあると答える児童・生徒の割合」を成果指標に設定していたが、平成28年度の全国学力学習状況調査の児童生徒質問紙より、同設問がなくなったため、趣旨が最も近いと考える上記設問に改める。

(4) 今後の取組予定

平成29年度は、本年度作成した「静岡型小中一貫教育カリキュラム【基本的な考え方】」を基に、平成30年度から小中一貫教育に取り組む「実践研究グループ」を指定し、成果及び課題の検証の準備を行う。

また、「静岡型小中一貫教育教育課程協議会」を引き続き開催し、具体的な取組や教育課程編成基準を併せた「静岡型小中一貫教育カリキュラム【解説編】」の作成、静岡型小中一貫教育の特色ある内容である「しずおか学」の確立などに取り組む。

このような取組を保護者や地元住民に広く周知するとともに、静岡型小中一貫教育組合せ校の各グループ校において、保護者や地域を含めた静岡型小中一貫教育準備委員会を設置するなどして、平成34年度からの全校実施を目指す。